

発売中
100円

憲法9条を変えて、
「戦争する自衛隊」にして
いいのですか (憲法会議・発行)

市長はトライ社に事実究明を求めている

日隈知重市議は11日、日田市の第三セクター（株）トライ・ウッドが韓国ハンス社に取引停止の示談金750万円を支払った経過を市長に質問しました。市長は「トライ・ウッドに事実究明を求めている」と答えました。

トライ・ウッドは、旧上津江村が国の支援を受け、経済林としての森林保全を図り、森林を守り育てる若い後継者育成のために設立された会社です。資本金は4億5400万円、そのうち市が3億8千万円（出資比率94%）。市は文字どおりの大株主です。

日隈市議は、トライ・ウッドが製材品の海外輸出をやめた理由を質問。市長は「海外からの注文が減り、国内需要が盛んになって

いる。海外輸出をやめたわけではなく（トライ・ウッドから）聞いている」と答えました。トライ・ウッドの木材輸出額の状況は左の表のとおり。

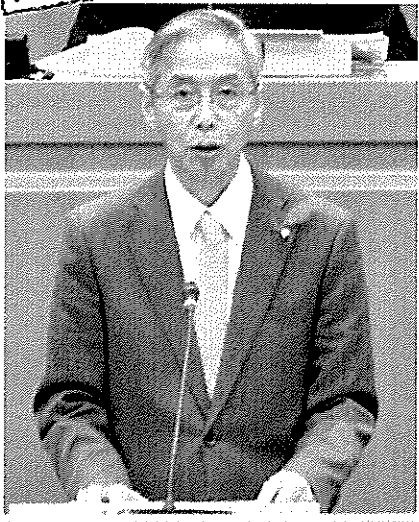
出荷していたが、その後、以前から取引のある別の韓国企業との売買契約に抵触する恐れがあることがわかり、ハンス社との取引を停止する判断をした。ハンス社から取引停止の賠償金を請求され、解決金750万円を支払って示談したと聞いている」と説明しました。また、今後の対応については「ハンス社との取引の経緯など事実関係を究明し、関係者への損害賠償請求を含め、トライ・ウッドに強く求めている」と答えました。

日隈市議は、これから事実究明をするかと答えた市長に対し、関係者から提供された証拠資料や証言をもとに追及しました。

トライ・ウッドの取締役をしている農林振興部長は、「日隈市議が示したすべてが事実とは確認できない」「取締役会で、トライ・ウッドの顧問弁護士から説明を受けた」と答えました。

日隈市議は「トライ・ウッドが海外からの注文が減ったと説明する一方で、ハンス社に取引停止の賠償金750万円を支払ったことは疑問が残る」と話します。

市長に質問する日隈知重市議（11日）



トライ・ウッドの木材輸出額

2013年	1,740万円
2014年	2,260万円
2015年	650万円
2016年	10万円
2017年	270万円

エコー検査ですい臓がん発見

生存率を全国平均の2倍に高めた尾道市



日隈市議は、尾道方式によるすい臓がん発見に尾道方式を求める

日隈知重市議は11日、すい臓がんの早期発見に役立つエコー検査の実施を求めました。

すい臓がんは、死亡者数が年々増えています。その生存率を全国平均の約2倍にまで高めている街があります。それが広島県尾道市。ここでは、街の医師が「エコー検査」を使ってすい臓がんを超早期の発見につなげ、多くの患者の命を救っています。

日隈市議は、尾道方式によるすい臓がんの早期発見に役立つエコー検査の実施を求めました。

い臓がんのエコー検査の実施を求めました。福祉保健部長は「死亡率の高い5つのがん健診を優先して実施している。尾道市の取り組みを調査検討するに至っていない」と答えました。5つのがん健診とは、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんです。